

令和5年10月 斐伊川水系水質情報

令和5年10月(宍道湖11日・中海12日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μ g/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	6.2	×	やや高い	3.7	△	平年並み	4.7	△	平年並み
全窒素	上層	0.61	×	やや高い	0.43	△	平年並み	0.51	△	平年並み
全リン	上層	0.135	★	非常に高い	0.059	×	やや高い	0.064	△	平年並み
Chl-a	上層	37	×	やや高い	9.7	△	平年並み	15	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,580	△	平年並み	11,700	△	平年並み	9,100	△	平年並み
	下層	3,500	△	平年並み	17,200	△	やや高い	14,200	×	やや高い
溶存酸素	上層	10.9		平年並み	8.8		平年並み	10.1		平年並み
	下層	4.8		やや低い	1.4		やや低い	3.0		やや低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.9	上昇	3.9	横ばい	5.1	横ばい
全窒素	上層	0.50	やや上昇	0.45	横ばい	0.54	横ばい
全リン	上層	0.115	上昇	0.063	横ばい	0.063	横ばい

宍道湖の透明度は1.5mから1.1mとやや下降し、平年並み。中海の透明度は2.0mから1.8mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.8mから1.2mとやや下降し、やや悪い状況となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値 平均値-標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合には<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%